

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和03年01月22日(金)

事務事業		スポーツ・レクリエーション団体活動支援事業		担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯スポーツ係	管理番号	6159	
第2次総合計画				事業区分	■ 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	→ 対象拡大 サービス拡充	有 <input type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	
	行計	大項目	200002	次代を担う人と文化を育むまちづくり（教育・文化）	根拠法令 個別計画等	スポーツ基本法・深谷市補助金等の交付に関する規則				
	政画	中項目	200002	誰もが生きがいをもち、学ぶことのできるまちづくり						
分施	小項目	200003	スポーツ・レクリエーションの推進							
事業概要		本事業は、市民のスポーツ・レクリエーション活動の推進を図るため、活動団体が実施する市民大会・各種市民教室等の運営支援を（公財）深谷地域振興財団へ委託することにより行う。								
目的 ※何のために		市民のスポーツ・レクリエーション活動の推進を図る。								
対象 ※誰・何を対象に		市内スポーツ・レクリエーション活動団体								
手段 ※どのように		市民大会・教室の開催及びその他活動に対する支援（委託）を行う。								
成果 ※何を求めるか		各団体の競技力の向上、組織力の強化並びに地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の活性化を目指す。								
執行体制		■ 市職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 ■ 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO 民間団体 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		会計区分	款		項		目	細事業名	前年度決算額（円）	
		一般会計	10	教育費	06	保健体育費	01	保健体育総務費	スポーツ・レクリエーション団体活動支援事業	5,600,000
			00		00		00			0
			00		00		00			0
			00		00		00			0
			00		00		00			0
本事業の 主な業務		・ スポーツ事故防止の啓発							・	
		・ 市民大会等開催支援							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区 分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画		・ 市民大会、教室等開催支援	・ 市民大会、教室等開催支援	・ 市民大会、教室等開催支援	市民大会、教室等開催支援	市民大会、教室等開催支援	
事業費	予算（現額）	5,600,000	5,600,000	5,600,000	5,600,000	5,600,000	
	決算額	5,600,000	5,600,000	5,600,000	0	0	
	財源内訳						
	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
人件費	他特定財源	0	0	0	0	0	
	一般財源	5,600,000	5,600,000	5,600,000	5,600,000	5,600,000	
人件費	従事職員数(人)	0.70	0.70	0.65	0.60	0.60	
	人件費相当試算 ※1	5,445,300	5,447,400	5,109,650	4,888,800	4,888,800	
		0	0	0	0	0	
(総事業費試算)		11,045,300	11,047,400	10,709,650	10,488,800	10,488,800	

※1 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	スポーツ・レクリエーション団体活動支援事業	担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯スポーツ係	管理番号	6159
<div>■ ① 現状のまま継続 □ ② 見直して継続 □ ③ 拡充・重点化（コスト投入） □ ④ 目的達成による終了 □ ⑤ 廃止を検討</div> <div>□ 委託化等の検討 □ 成果向上のための改善 □ 効率化のための改善 □ 事業規模の縮小 □ 他の事務事業と統合</div>				評価の内容説明 各団体は自立して活動ができていると評価できる。引き続き団体の運営体制の構築などに支援していくとともに、スポーツ・レクリエーション振興の根幹となる3団体および加盟団体の活動に協力していく必要がある。			
上記を実施するための具体的な取り組み内容は？				評価者	生涯学習スポーツ振興課長 岡田 真		

7. 改善改革プランと今後の課題

改善・改革案	
--------	--

8. 今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

今後の課題	
-------	--

9. 評価指標グラフ

